



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年7月31日

上場会社名 株式会社 コロワイド 上場取引所 東  
 コード番号 7616 URL http://www.colowide.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野尻 公平  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 久松 寛 TEL 045-274-5970  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	24,763	3.9	588	△46.2	438	△58.1	△138	ー
24年3月期第1四半期	23,826	△4.6	1,093	70.1	1,047	148.6	457	ー
(注) 包括利益	25年3月期第1四半期		△227百万円 (ー%)		24年3月期第1四半期		521百万円 (ー%)	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△2.59	ー
24年3月期第1四半期	5.35	5.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	86,695	20,020	20.8	159.74
24年3月期	83,815	21,107	22.7	170.96
(参考) 自己資本	25年3月期第1四半期	18,044百万円	24年3月期	19,053百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	ー	0.00	ー	5.00	5.00
25年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
25年3月期(予想)	ー	0.00	ー	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	52,670	7.7	1,236	△3.5	731	△35.2	△140	ー	△3.30
通期	109,217	7.2	4,793	49.6	3,690	45.7	544	△29.7	4.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

「四半期連結財務諸表の用語、株式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	75,284,041株	24年3月期	75,284,041株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	225,905株	24年3月期	225,434株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	75,058,273株	24年3月期1Q	75,060,597株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興が進み、国内景気は緩やかながら回復の動きが見られたものの、欧州の債務危機の再燃、中国経済成長の減速、長期化する円相場の高止まりや株価の低迷など、景気の先行きにつきましては依然不透明な状況にあります。

外食産業におきましては、消費者の節約志向・選別志向が相変わらず根強く、また、市場規模の拡大がみられない中、「中食」に代表される異業種との競争激化もあり、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループでは「食の安全・安心」を第一に心掛けるとともに、QSCAを引き続き深化させることに注力し、お客様に「楽しかった、美味しかった」と喜んでいただけるよう努めました。更に昼宴会やノンアルコール宴会をはじめとする各種宴会の拡充、顧客ニーズに合った新商品の開発による商品力の強化などにも取り組みました。また、店舗の改装・改修につきましても積極的に行っております。

コスト面では、米や野菜などの価格高騰の影響はあるものの、前期より稼働を開始した神奈川工場の効果もあり、食材の内製化率が向上したことや食材アイテム数の削減により、粗利益率の改善が進みました。また、中長期的な観点から、6月より神奈川工場内においてLED照明を使用した水耕栽培による完全密閉型植物工場を新たに稼働させ、無農薬野菜の安定調達とともに具体的なメニュー作りに取り組んでおります。

店舗政策につきましては、当第1四半期連結累計期間中に7店舗の新規出店と5店舗の閉鎖を行いました。また、COLOWIDE ASIA CO.,LTDが連結の範囲に含まれることとなったため、当第1四半期連結会計期間末の直営店舗数は897店舗となっております。

以上のような施策を図ってまいりました結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、連結売上高は247億63百万円、連結営業利益は5億88百万円、連結経常利益は4億38百万円となりました。また、固定資産除却損等を計上した結果、連結四半期純損失は1億38百万円となりました。

当社グループは、主として直営店による飲食店チェーンを経営しておりますが、セグメント別の売上高につきましては、㈱コロナイド東日本140億69百万円、㈱アトム93億38百万円、その他18億81百万円となっております。尚、各セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高等を考慮しておりません。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ28億80百万円増加し、866億95百万円となりました。これは主にのれんが3億4百万円減少したものの、現金及び預金が29億52百万円及び有形固定資産が4億17百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ39億67百万円増加し、666億74百万円となりました。これは主に短期借入金が増加した14億80百万円、1年内償還予定の社債及び社債が19億円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ10億86百万円減少し、200億20百万円となりました。これは主に利益剰余金が9億15百万円減少したことによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローが11億39百万円、投資活動によるキャッシュ・フローが△15億54百万円、財務活動によるキャッシュ・フローが32億79百万円、新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額が93百万円となりました結果、前連結会計年度末に比べ29億49百万円増加し85億30百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純利益や減価償却費及びのれん償却額の計上によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額があるものの、短期借入れによる収入及び社債の発行による収入によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月1日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想の数値から変更はございません。

今後の業績の推移等を慎重に検討した上で、変更が必要な場合には適切に開示してまいります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4百万円増加しております。

4. 四半期連結財務諸表等  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,696	8,648
売掛金	1,692	1,410
たな卸資産	2,677	2,876
その他	3,378	3,592
貸倒引当金	—	△0
流動資産合計	13,445	16,526
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	26,619	26,700
その他（純額）	13,483	13,819
有形固定資産合計	40,102	40,520
無形固定資産		
のれん	6,600	6,295
その他	1,470	1,583
無形固定資産合計	8,070	7,879
投資その他の資産		
敷金及び保証金	16,462	16,516
その他	5,696	5,186
貸倒引当金	△247	△241
投資その他の資産合計	21,910	21,460
固定資産合計	70,084	69,860
繰延資産	285	308
資産合計	83,815	86,695

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,041	4,656
短期借入金	375	1,855
1年内返済予定の長期借入金	10,607	10,527
未払法人税等	574	230
引当金	502	641
その他	11,036	11,507
流動負債合計	28,138	29,417
固定負債		
社債	11,749	13,400
長期借入金	13,904	14,704
引当金	10	8
資産除去債務	954	960
その他	7,949	8,183
固定負債合計	34,568	37,256
負債合計	62,707	66,674
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,030	14,030
資本剰余金	5,738	5,738
利益剰余金	△361	△1,277
自己株式	△128	△128
株主資本合計	19,279	18,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△223	△310
繰延ヘッジ損益	△2	△1
為替換算調整勘定	—	△6
その他の包括利益累計額合計	△225	△318
少数株主持分	2,053	1,975
純資産合計	21,107	20,020
負債純資産合計	83,815	86,695

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	23,826	24,763
売上原価	7,247	7,464
売上総利益	16,579	17,298
販売費及び一般管理費	15,485	16,709
営業利益	1,093	588
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	9	11
不動産賃貸料	136	135
貸倒引当金戻入額	92	5
協賛金収入	105	106
その他	46	47
営業外収益合計	397	314
営業外費用		
支払利息	253	234
社債利息	54	64
賃貸収入原価	99	107
その他	37	57
営業外費用合計	444	464
経常利益	1,047	438
特別利益		
固定資産売却益	5	—
受取保険金	3	—
受取補償金	—	48
補助金収入	—	76
特別利益合計	8	124
特別損失		
固定資産除却損	150	162
減損損失	99	98
その他	92	42
特別損失合計	342	303
税金等調整前四半期純利益	713	259
法人税、住民税及び事業税	191	219
法人税等調整額	2	158
法人税等合計	193	378
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	520	△118
少数株主利益	62	20
四半期純利益又は四半期純損失(△)	457	△138

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	520	△118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△103
繰延ヘッジ損益	2	1
為替換算調整勘定	—	△6
その他の包括利益合計	1	△108
四半期包括利益	521	△227
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	458	△231
少数株主に係る四半期包括利益	62	4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	713	259
減価償却費	1,149	1,197
その他の償却額	93	83
のれん償却額	304	304
受取利息及び受取配当金	△16	△18
支払利息及び社債利息	307	299
固定資産除却損	150	162
減損損失	99	98
売上債権の増減額 (△は増加)	50	253
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△218	△195
仕入債務の増減額 (△は減少)	122	△394
その他	239	△368
小計	2,996	1,682
利息及び配当金の受取額	11	10
補助金の受取額	—	132
利息の支払額	△126	△145
法人税等の支払額	△378	△540
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,502	1,139
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,036	△1,272
敷金及び保証金の差入による支出	△269	△201
敷金及び保証金の回収による収入	288	164
その他	△144	△245
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,162	△1,554
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	2,648	1,855
短期借入金の返済による支出	△775	△375
長期借入れによる収入	200	1,750
長期借入金の返済による支出	△1,086	△1,030
社債の発行による収入	—	1,859
社債の償還による支出	△1,000	—
配当金の支払額	△410	△529
少数株主への配当金の支払額	△41	△65
その他	△132	△185
財務活動によるキャッシュ・フロー	△597	3,279
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	742	2,855
現金及び現金同等物の期首残高	8,381	5,581
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	93
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,124	8,530

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。